

# 委託業務特記仕様書（令和3年5月1日以降適用）

## （共通仕様書の適用）

- 第1条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

## （共通仕様書の変更・追加事項）

- 第2条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

（徳島県HP）：「委託業務共通仕様書について」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

## （共通仕様書の読み替え）

- 第3条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

## （成績評定の選択制（試行））

- 第4条** 当初業務委託料（税込み）が100万円を超え500万円未満の土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、除草、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務（土木）における成績評定の選択制の取扱い（試行）」を適用する。
- 2 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務（土木）成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。
- 3 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が100万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務（土木）における成績評定の選択制の取扱い（試行）

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2005100400079/>

## （ウィークリースタンス）

- 第5条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組まなければならない。
- （1）ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）
- （2）マンデー・ノーピリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
- （3）フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）
- 2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。
- 3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。

- 4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。
- 5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

#### **(Web会議)**

**第6条** 本業務は、Web会議の対象業務であり、対面による打合せをWeb会議とすることができる。

- 2 Web会議は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施を決定するものとする。決定した内容は受注者が打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。
- 3 Web会議の内容については、受注者が打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。なお、打合せ記録簿にはWeb会議の実施状況写真を添付するものとする。

#### **(本業務の特記仕様事項)**

**第7条** 本業務における特記仕様事項は、次頁以降のとおりとする。

# 岩屋谷川排水機場樋門改修設計検討業務 特記仕様書

## 1 目的

本業務は徳島県東部県土整備局（吉野川庁舎）管内の岩屋谷川排水機場に隣接する樋門ゲート3連、バイパスゲート1連、それらの機器の更新設計及び、樋門構造物（樋管3連、バイパスゲート）の点検・修繕設計を行うものである。

## 2 実施内容

### 1) 打合せ

本業務の打合せ協議は原則として、次の時点で実施する。

ただし、必要に応じて電話等により発注者の意図が反映できるよう配慮する。

- (a) 業務着手時
- (b) 中間打合せ時（1回）
- (c) 成果品納入時

### 2) 樋門設備設計

#### 2-1) 現地調査

年次点検等点検資料を基に、現地を確認し修繕等に必要な調査を行う。

#### 2-2) 設計計画

本業務の目的・主旨を十分理解したうえで、本業務を実施するにあたって必要な資料を収集整理等の準備作業を行い、作業計画を行う。

#### 2-3) 基本事項

修繕計画の検討決定、下記箇所の修繕又は更新計画検討を行う。

- 開閉装置4基（ワイヤーロープ式、ワイヤーロープ含む）
- 機側操作盤2基
- 水密ゴム4門
- 開閉装置点検スペース用張出デッキ新設（手摺あり）
- 管理橋塗装（ケレン塗装4回塗り）

#### 2-4) 詳細事項

基本事項を基に操作制御方式の検討及びその他の付属施設の仕様配置等の決定を行

う。

#### 2-5) 設計計算

設計計算書作成、材料・部材の検討決定、装置・諸元の検討決定、機器配置の検討決定、施工計画（機器設置等）・工事工程計画の作成（概略）及び仕様書（案）の作成を行う。

#### 2-6) 設計図

一般構造図（全体配置図）、付属設備組立図、仮設図（概略）等の必要な設計図面を作成する。

#### 2-7) 材料計算

主要部材数量表（内訳表・集計表）及び機器数量表（規格・容量）等の材料の計算を行う。

#### 2-8) 施工計画

本工事に伴う仮締切の構造・撤去等の工事の順序と施工法を検討する。

#### 2-9) 仮設構造物設計

施工計画により必要となる仮設構造物（河床への工事用道路等）の規模、構造諸元を近接構造物への影響を考慮して、安定計算及び構造計算により決定し、仮設計画」を策定する。

#### 2-10) 構造計算

##### (a) 設計条件の確認

構造設計に必要な、設計条件、荷重条件、自然・地盤条件、施工条件等の必要項目を設定する。

##### (b) 本體工

躯体、門柱、操作台等について検討し、安定計算・構造計算を行う。

### 3) 樋門（バイパスゲート1門）・樋管3連の点検及び修繕設計

#### 3-1) 資料収集整理

過去の点検・整備記録等、業務に必要な資料を収集し、整理する。

#### 3-2) 現地調査（定点調査）及び試験

躯体、現地調査(定点調査)及び試験により現況コンクリートの劣化状況を直接測定する。

(a) 近接目視

現地踏査により決定した調査地点において、目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握(ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観測等を含む)するとともに、スケッチを作成する。

(b) コンクリート強度推定調査

リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。

(c) 鉄筋探査

コンクリート供試体採取位置又ははつり調査位置の特定のため、鉄筋探査器により鉄筋位置・かぶりの探査を行う。

(d) 中性化深さ調査(ドリル法)

コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。

3-3) 修繕計画の作成

点検及び試験の結果に基づき、修繕設計及び施工計画を作成する。

4) 関係各位協議

仮設構造物設計(河床への坂路築造等)に伴う、河川管理者等関係各位との協議をおこなうこととする。

5) 照査

仕様書に基づく条件、検討項目、設計内容等の照査を業務中間段階並びに適切な区切りにおいて適宜実施する。

6) 概算工事費の算定

土木工事標準積算基準書を基に概算工事費を算定する。

7) 報告書作成

各設計項目の成果物の点検、報告書の作成を行う。提出する成果は次の通りである。

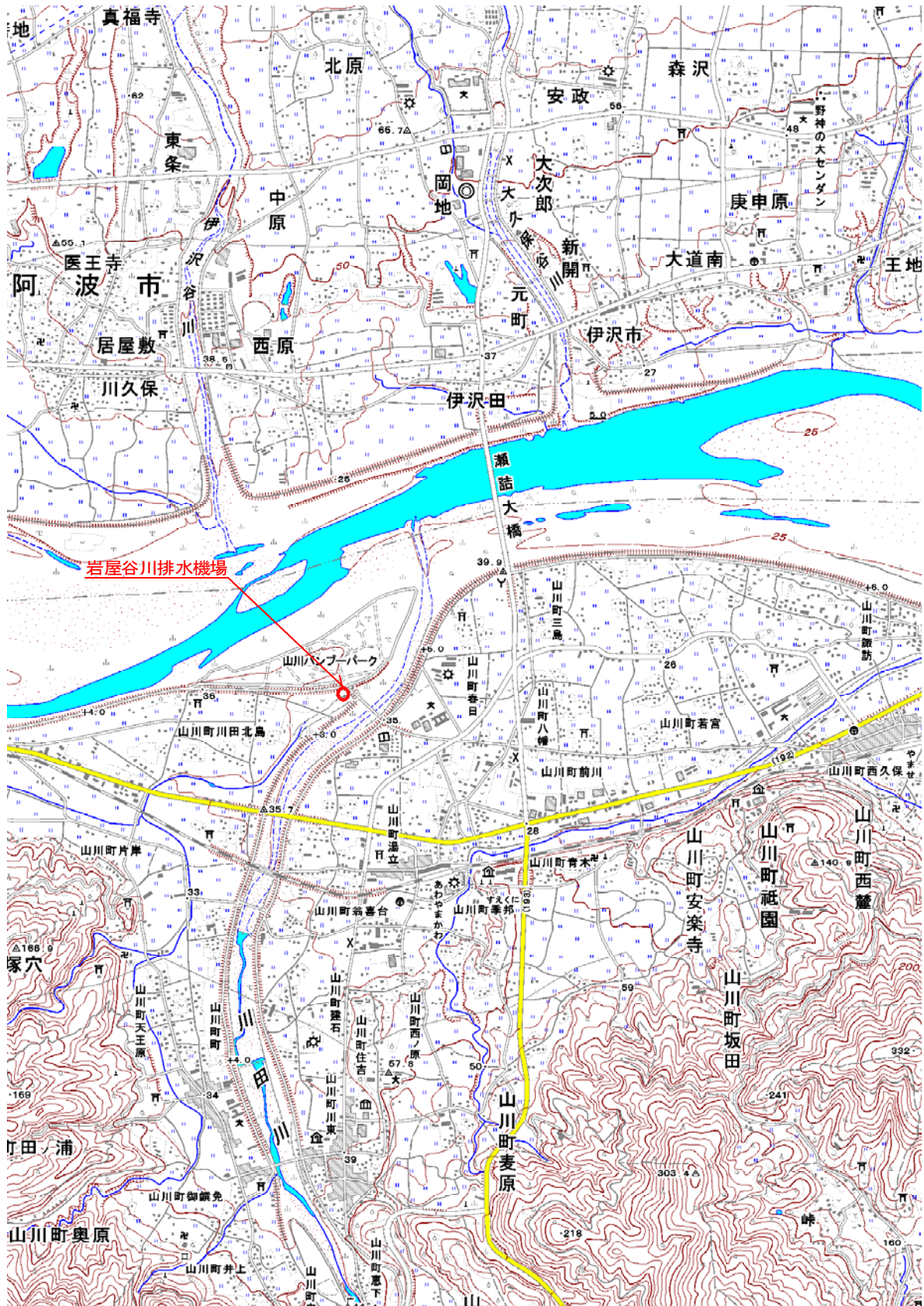
(a) 紙媒体報告書(A4チューブファイル綴じ) 2部

(b) 報告書原稿(電子データ) 2部(正・副2枚)

岩屋谷川排水機場

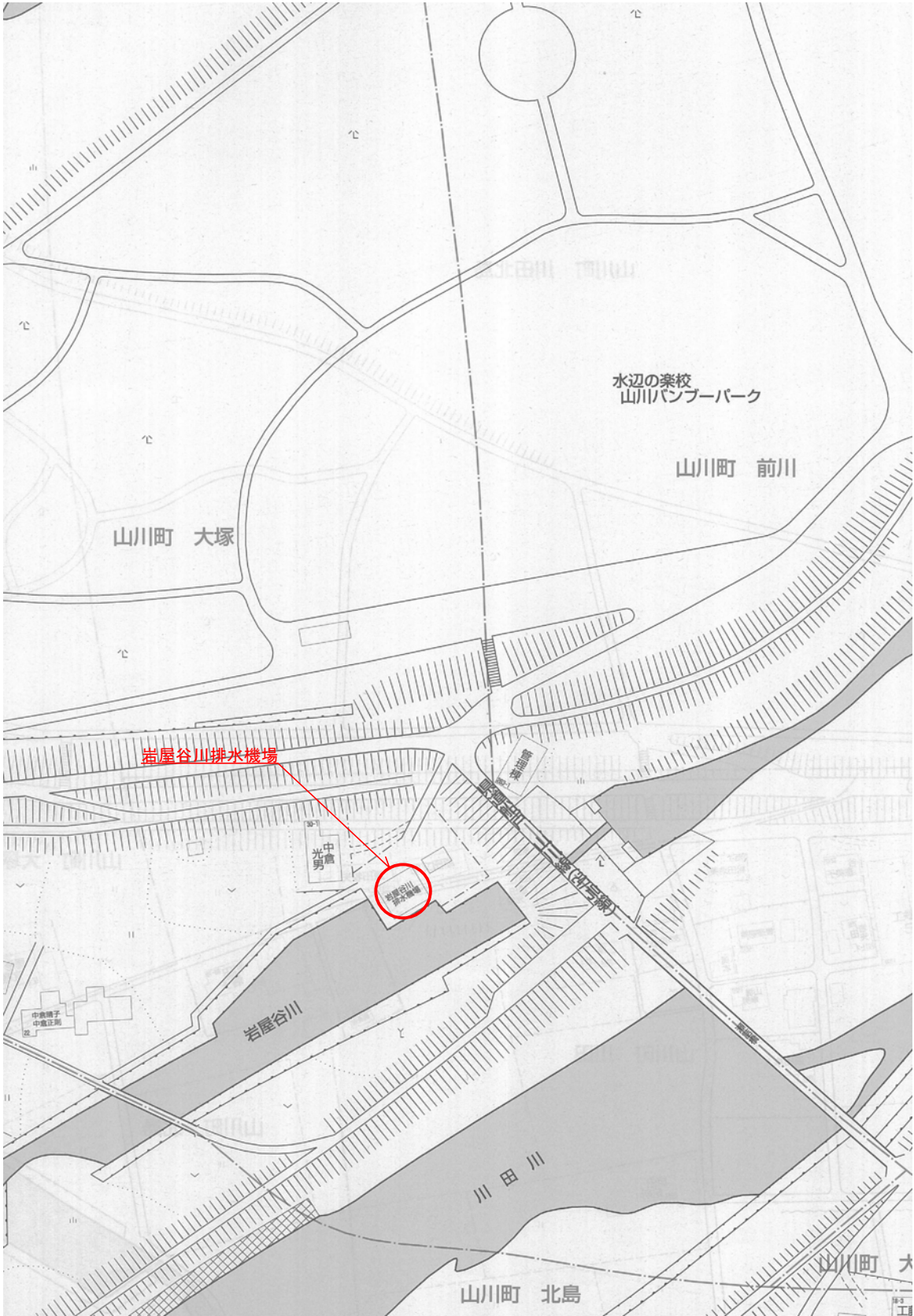
構造物名称	岩屋谷川排水機場
河川名	岩谷川
位置	吉野川市山川町大塚
事業名	岩屋谷川排水機場新設工事 岩屋谷川ポンプ設備工事
竣工年度	排水機場：昭和 46 年(1971 年) 岩屋谷川ゲート：昭和 45 年(1970 年)
併用年数	排水機場：41 年 岩屋谷川ゲート：42 年 平成 24 年(2012 年)現在
河川ポンプ設備	
種別	排水機場
計画吐出量	2.5m <sup>3</sup> /s × 2
吐出口径	φ1100 × 2
原動機	ディーゼル機関 135ps × 2
減速機	横軸遊星歯車減速機
電動弁	電動蝶型弁 φ1100 × 2
クーラー	冷却水
除塵設備	
型式	連続式 (レーキ式) × 2
水路幅	3.30m
水路高	5.60m
ベルトコンベヤー	
型式	水平ベルトコンベヤー
ベルト幅	0.75m
機長	9.80m
河川ゲート設備	
種別	樋門
型式	鋼製ローラーゲート
純径間	6.200m
呑口高	3.100m
門数	4 門 (3 連ゲート、1 ゲート)
水密方式	後面 4 方ゴム水密
開閉装置	電動ワイヤーロープ式
開閉速度	0.3 <sup>m</sup> /min

位置図





事業施設名	岩屋谷川排水機場
施設設置市町村	吉野川市



事業施設名	岩屋谷川排水機場
施設設置市町村	吉野川市

